

若葉が萌える今は一年で一番いい季節ですね。通勤や散歩で通りから見えるお庭も花も咲き競っています。日々の丹精に感謝と喜びを表現しているようです。

我が家の狭くて西日しか当たらないベランダにも鉢植えのバラが咲いてくれました。アイスバーグという白いつるバラです。けなげに咲いた彼女が挿絵で出演です。

少ずつカシミアのUTOとして知っていただけになりましたが、『モヘアは無いの？綿はやらないの？シルクは？』という質問に『カシミアしかないんです』と答えるのは辛く、喉から手が出るほど欲しい売上のチャンスをみすみす逃すのは結構勇気が要ります。ニット作りは奥が深いけど、カシミアならどこにも負けないと言っ自負はあります。能力も財力も無い者として、好きで、得意なカシミアに特化して種目別で金メダルを目指しています。

【快調のカシミアフェア】

『一週間くらいお店を一新してUTOのカシミア受注会を開きませんか？』『ライナップは12ゲージから3ゲージの約100型、色は約80色から選んでいただけます。その上サイズはもちろん、袖や着丈など貴方のピッタリの寸法で作ります』という呼びかけで始めたこの企画も4年目。一年目十二店舗で始まったフェアは2年目三十店舗、3年目五十店舗、今年5月末で30店舗、目標は150店舗。数字の取れる企画として定着してきました。『開催店を募集中です！』

【畑に種を蒔く】

秋の収穫を得るには種をまかなければならない。種をまくには畑を耕さなければならぬし、種を蒔いたら水もやらなければならぬ。『種を蒔かねば芽は出ない』、そんなことはみんな重々知っている。知識のある人も「まんどい。知識をひけらかしながら、畑を眺めている評論家のなんと多いことか。知識があれば評論すれば芽が出て成長して収穫を得られるんだらうか？そんなことは決してない。評論家には優越感はあるだろうが、富を得られなければ喜びも得られ無い。僕は種蒔く人、鍬振る人。秋の収穫と喜びに向かつて種を蒔く。」



バラ・アイスバーグ

【営業の上坂です】いつも『UTOニット便り』をご覧頂き有難うございます。昨年は、岐阜、青森、岩手、山口からお問い合わせを出張し、先日も通信を見てお問い合わせ頂き、京都、奈良と出張してまいりました。狭い日本ですから全国津々浦々どこへでもはせ参じようと思っております。どうぞ遠慮なくお問い合わせください。

タートル衿付きカーデ

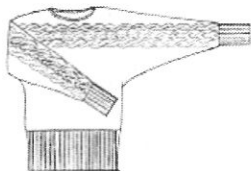
No. 2220 ¥47,000.-



衿のボタンを開くと襟付きカーデ、閉じて折り返すと衿のボタンがポイントのタートルにはや代わり。色んな着方が楽しめるのも便利なカーデガン

手織ケーブル編みドルマンセーター

No. 1520 ¥65,000.-



袖リブと裾のリブを長めにした5ゲージのドルマンセーター。編地を横に使い胸に大胆なケーブル編みを手織編みならではの迫力です。

リボン付ショートP.O

No. 1263 ¥38,000.-



袖も身頃もすそ一線のゆったりシルエット。袖口と裾のロールが可愛い。肩から衿にまわしたりリボンを結んで美しい演出をしてください

【南青山境界】 UTOはこんな街から発信しています
その新しいビル、後に下がってください

南青山骨董通りの道路計画

骨董通りを歩く機会があったら通りに面したビルの上の階を注目してみてください。

3階辺りから上の階が3メートルぐらい後に下がって下がった面は一応に揃っているのが解ると思えます。これは、この通りを拡張する計画があり、実行される時には下の出っ張りはずべて削られる約束になっているからです。

東京都建設局のサイトではこの拡張工事の目的は『電線類を地中化して安全な歩行空間を作るのと、骨董通りの渋滞を解消させる為』と言っことで、平成十四年〜十九年に三十九億円をかけて建設するという風に書いてあります。

この通りは片側二車線の比較的広い通りですが、実際渋滞がひどいことでも有名な通りです。電信柱の地中化は大賛成ですが、道路を拡張しても渋滞解消は疑問です。あくまでも僕の私見ですが、混雑の原因の一つは骨

董通りからメイン通りの青山通りに入る時の信号の時間差で渋滞を起こしていることです。反対行きの六本木通りも同じ現象です。

片側二車線の通りの両側はコインパーキングで早朝深夜以外はいつも満車の状態で空きを見つけないのはよほどの幸運が必要で、前の車が出て五分もしない内に埋まります。

パーキングメーターとパーキングメーターの間にも常時駐車しててこっちは無料。勿論違反駐車ですがチェックのおじさんは巡回してパーキングメーターの時間超過を取り締まっています。パーキングメーターの枠の外の車にはノータッチです。かえってこっちは車の方の駐車時間が長いようです。

こんな状態ですから歩道側はずっと車。結局通れるのは一車線。常時渋滞しているように見える道路状況の実実は両側に駐車して車と駐車スペースを探して回遊してる車の列。だから渋滞しているように見えるけど気にするような渋滞ではないんじゃないかな。

この通りのコインパーキングメーターを数えてみたら82台分ありました(僕も暇ですね)。駐車料が60分で300円。早朝深夜は無料です。からざっと計算すると東京都には年間一億二千万円の駐車代金が入ることになりますね。空き時間や超過しても平気な奴を割引しても一億円。結構な金額ですね。パーキングメーターの設置代と集金のおじさんの日当以外は仕入もなく殆ど利益ですから。

渋滞解消はどうか分かりませんが、電信柱が無くなって並木道になったら良い通りになるでしょうね。どんな通りになるか楽しみです。でもそれで四十億円もかかるというのもちょっと驚きです。また完成が平成十九年ということですが一向に工事が始まる気配がありません。



* ニットの話 * (十五)

いい加減は良い加減 という着心地の良さ

ニットの良さを最たるものは着心地の良さです。それはニットの特徴であるループによる編地の伸び縮みにあります。

織物は縦糸に横糸を渡しながら織り上げてゆくので横にも縦にも伸びません。この織地の組織によって服は安定して形が崩れないんですよ。

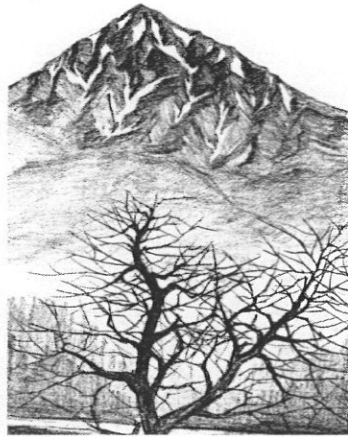
一方、ニットの場合は先回のゲージの話でもお話ししたように編地がループなので体の動きに合わせて伸びたり縮んだりしますからとっても着心地がいいんですが、この着心地が良い利点が厄介な問題も持っているんですよ。それは寸法が定まりにくいということです。

UTOは『貴方の希望の寸法で作ります』というのが大きな特徴の一つですが、これは大変なリスクでもありません。

セーターを編む時には、何センチの巾にどれだけの針本数(目立て)と言います。何センチの丈に対して何回編むというのを設計図(回数書)の通りに編んでいきます。基本的にデジタルな方法なんです。

UTOの場合、お客様お一人一人にもちろん型ごとに指示書を作りますので大変な作業ですが、その指示書に従って、例えば二センチ巾を出すときにはその分の針立てを増やし、五センチ短くする時にはその分の編み回数や回数は正確でも結果の中や丈がそのまま出ないで微妙に違つてくるんです。と言うよりしょっちゅう発生します。そこを長年の経験と勘で微妙に調整しながら作り上げて行くんです。それこそ『作り上げる』という表現がピッタリだと思います。

出来上がったセーターは最終仕上げの際に一枚一枚キチンと採寸しますがこのときはチームを当てたりアイ



グレードの高いファッション製品だからミリ単位の細心の厳しさが当然でセンチ単位の違いが出るなんて理解できないといわれる人も少なくありません。でも皆さんの着ているセーターを横に引く張つたら何センチになりますか? 多分三十%ぐらいは簡単に伸びます。このぐらいの反動で丈が十%ぐらい短くなつてしまします。このぐらいニットはいい加減で難しいんですよ。

ヨーロッパなどからセーターを輸入する場合、同じ品番の同じサイズの色でも3パーセントの乱寸のクレームは受け付けない、と最初から契約書に書かれています。だからと言って少々の違いは当然と言っているのは決してありません。(UTOでは不満の時はお客様の二注文でお作りしても作り直すか返品に応じています) まず、ニットとはいいい加減なもので、だからこそ良い加減の着心地になることをご理解ください。

なにせ、ニットは『莫大小』って言うんですから。

忙中暇話・ニット屋のたわごと

ヨシベのおっちゃん



和田真衣子ちゃん、ヨシベのおっちゃん

伊藤さんと25年ぐらい前、旅行屋からレ・アルというニットメーカーに移って間もなく、同業のニットメーカーという気な情報交換からお付き合いが始まりました。以来、業界の大先輩として色んなことを教えていただき、自宅にまで泊めてもらったりするようになりました。

そんな伊藤さんがニット屋をリタイアして第二の人生を送る為に故郷の岐阜県恵那市の旧中仙道に沿った武並という小さな町に戻られました。

『山奥に引込んでノんびりやってるよ、自然がいっぱいあるから遊びにおいでよと誘っていたら訪れた伊藤さんの家は、広い敷地に母屋と離れ、倉が二つもあつた大きな屋敷でした。実家は何代か前からここで塩や煙草の専売を始め生活物資全般を扱う商家だったそうなんです。』

その屋敷の通りの向かい側に駄菓子屋を始めて五年前が過ぎ伊藤さんは地元の子供達に『ヨシベのおっちゃん』と慕われています。所狭しと置かれた商品は五円、十円、百円の商品で地域の子供達を対象です。

毎朝子供達の通学の時間になると伊藤さんは外に出て前を通る子供達一人一人と声を交わします。なかなか出来ないと感じている、『いやーあの子達はお得意様だからと照れておられるけど、子供のいない伊藤さん夫婦にとっては皆孫みたいなもので可愛くてたまらないんですよ。』

子供達は、休日などは一日店の周りで遊んで、喉が渇いたらジュース、アイススクリーム、お腹がすいたらカップラーメンとなかなか繁盛のようですが、伊藤さんはルール違反する子や間違つたことにはびしょと叱る大人の存在で、お店は騒動の場でもあります。叱られるながらも優しく見守ってくれる伊藤さんを慕って子供達が書いてくれた絵や文がお店の壁には貼られているんです。学校の旅行で行った時にお小遣いを貼ら合せて買ってきてくれたという携帯ストラップや五重塔の置物まであります。

そんな伊藤さんに地元の小学校から駄菓子屋さんをモデルにした商売の課外授業の先生の依頼が来ました。子供達が書いた臨時の伊藤先生に対する感想文と授業風景の写真がまとめた冊子を読ませてくれました。きつと楽しい授業だったんだらうなあと思われました。教壇の伊藤さんも様になっていきます。

長年ビジネスの最前線で経営者として活躍され貴重な経験と知識をもち、暖かい気持ちと愛情を持って子供達と接してくれる伊藤さんのような大人がいることは、子供達の親にも地域にとっても有り難い存在だと思います。

世界のホテルを旅する(十五)

元、旅行屋のお勧め マニラ、フィリピン

今から三十年も前の話。二十人ぐらいの社員旅行の添乗です。羽田を出発する時、現地フィリピンを手配するエージェンツの担当者で珍しく見送りに来てくれました。殊勝なことだと思つていると、搭乗前に彼がとんでもないことを耳打ちしたんです。『実はマニラのホテルが最終日しか取れていないんです。エ、エエッ? と寝耳に水の話で絶句です。メンバーはこれから始まる南国の休日にワクワク、一方の添乗員は顔を引きつらせながらマニラへ向けて離陸しました。』

ひどい話で現地のミスと言つても最終はこつちの責任。ホテルが取れていないのは確かです。マニラに着いて事情を説明しお客様が市内観光をしているうちにマニラ中を走り回つて市内の町内にもみすばらしいホテルを確保。普通ならこの地区には観光客は足を踏み入れないように注意する所です。とにかく各部屋に伺つて誠意を尽くしてお詫言ひし了解を戴くことが出来、一日目はどうやら終わりました。

二日目、ここから出ないと不満爆発です。こうなつたら旅行の予定は有つてないようなものですから滞在型から、ホテルを探しながら観光するツアーに変更です。皆さんも『其の方が良い、宇土さんに任せます!』と決まりました。

一応今日の予定はマニラ郊外のタガイタイでタール火山の観光ですが、其の近くで何か探せばないかと走り回ります。ここにはタールビスタロッチという火山湖を見下ろす絶好のロケーションに老舗のホテルがあります。早速マネージャーに頼み込みますが勿論満室です。しかし老舗ホテルのマネージャーは、この辺りのリゾーダー的存在はずと目星をつけ、彼に何とか協力してもらおうように強引に頼みこみました。『うちに泊まりに来たお客さんが困つて』と言う口実が最初からの狙いでした。



僕の執念と、結構な額のチップが好を奏して彼はついに一軒のホテルを見つけてくれました。『ラボ!』やはり彼は実力がある。もう一押し、明日のホテルも探してと頼み込みます。図々しいにも程があると自分でも思いますが、今は彼しか頼る人はいません。粘ること二時間、ついに見つけたのが美しい緑のゴルフコースの中に点在するコテージ。こつちは大正解で皆大満足。おまけにゴルフ好きの人達で急遽ゴルフコンペも開催できました。

マニラ湾に面し、有名な夕陽を一望に望む絶好のロケーションと近代的な設備の超一流ホテル。長い三泊を経てたり着いたのがこのフィリピン、プラザホテルです。

『苦勞さん、最初はどなるかと思つたけどかえつて良い旅行が出来てみんな喜んでるよ。ここへ着いたからにはもう心配は要らないだらうから宇土さんもゆくりしてください』と言つて戴いた時、旅行屋冥利を感じました。そう、何も無い時には添乗員は要らないんですよ。うと